

「いもほり」遠足を実施！園バスで、益子町にある「芋ほり観光農園」へ。



10月4日(木)に園外保育の一環として、益子町にある「芋ほり観光農園」へ園バス3台で出かけました。

10時に園を出発し、30分程度で目的地近くの駐車場に着きました。さっそくクラスごとに並んでサツマイモ畑まで歩きました。畑は山の斜面にあり、少し急な坂道を上っていきます。畑に着くと芋のツルがきれいに刈り取られていました。畝ごとに段々になっていて、一人2株ずつ採るように白線で目印が引かれています。年長さんから順に畝と畝の間に並び、自分が掘る場所を確認します。袋を手にした子どもたちは、早く掘りたくてうずうずした様子です。



「ハイ、掘り始めましょう。」という先生の言葉で、一斉に子どもたちは土を掘り始めました。「ア、出てきた。大きい。」と掘り始めてすぐに出てきた芋に驚く子。「先生見て見て。こんなにあるよ。」と土の中から顔を出したサツマイモを指さす子。本当に楽しそうです。

始めて15分程度で全員がサツマイモ掘りを終えました。ほとんどの子は5個も6個も袋に入れ、重そうに持っています。中には自分の顔より長いサツマイモを掘り当てた子も。(随分苦勞して芋を掘り出していたので、本当に嬉しそうでした。)



金子写真館の方も見えていたので、掘った畑を前に記念撮影をしました。全クラスが撮り終わるのを待っている間、周りの景色に目をやる園児も。「先生、この細長いのは何。こっちの丸いのはカボチャだね。」などと質問する子も。自然の中、いろいろなものに目を奪われる子どもたち。大切な経験だと感じました。(その子が気付いたヘチマのようなカボチャは、「すくなカボチャ」といわれるもので、岐阜県や長野県などで多く栽培されているものです。)



サツマイモの入った袋を軽トラックの荷台に乗せ、手を洗ってからバスに乗りました。



芋ほり体験の後は、益子町の南運動公園へ。遊具が集まっている公園近くの芝生にシートを敷き、そこで昼食を食べました。お弁当箱をのぞくと子どもの似顔絵風のおにぎりなど、かわいらしい工夫がされていて、お母さんの愛情の大きさを感じました。子どもたちもおいしそうに食べていました。食事の後は、遊具で思い思いに遊びました。とても高いザイルクライミングやとても長いローラーすべり台は子どもたちに大人気でした。



園バスで午後1時に運動公園を出発し、1時30分ごろ帰園しました。自然の中で楽しく過ごした一日。園児にとって、幼稚園での貴重な思い出になったことと思います。



【写真】(上から5段目まで)畝(うね)が段々になっていて、またツルもきれいに刈り取られていたため、本当に掘りやすかった。べたついた土でないため抜きやすかった。

(下2段)クラスごと、みんなで楽しくお弁当。お母さん手作りの似顔絵おにぎりをほおばっています。「うんメー！」と一言も!